

総務経済常任委員会会議記録（概要）

平成27年6月19日（金）

開 会（午前9時0分）

【議 事】

○議案第63号「平成27年度所沢市一般会計補正予算（第4号）」

当委員会所管部分（産業経済部）

【補足説明】 な し

【質 疑】

荒川委員

経営体育成条件整備事業について、1経営体とあるが新規就農の方か。

小寺農業振興

新規就農の方ではありません。

課長

荒川委員

中心市街地活性化人づくり事業委託について、川越市と比べてどこが違うのか、何が足りないのかといったことを、コーディネーターの方と直接話したことはあるか。

柳田商業観光

川越は城下町ですので宿場町との違いはありますが、航空発祥の地など所沢の利点の部分を広めていきたいとのことでした。

課長

荒川委員	担い手がなぜ育たないのかということについては、どう話されているのか。
柳田商業観光課長	担い手については、今、中心市街地活性化拠点施設であるまちぞうの中では、ボランティアも使いながら行っているという部分があり、案内するルート等は川越に比べてまだまだ開発するべきところがあるという話を聞いています。
島田委員	観光コンシェルジュについて、参加された方の声や利用率はどうか伺いたい。
柳田商業観光課長	観光コンシェルジュについては昨年養成が終了し、この7月から参加者2人以上よりお申込みくださいということで募集を開始します。養成されたコンシェルジュは8人いますが、旧町、中心市街地のことも学んでいますので、そうした要望には応えられると感じております。
島田委員	旧町地区は歴史もあるが、開発の関係で見どころが少し乏しいところがある。そういった中で、どのように中心市街地の歴史を伝えながら、中心市街地の活性化につなげていくのか伺いたい。
柳田商業観光	まちの顔となる中心市街地という部分で、主には鎌倉街道の歴史や当時

課長

織物で栄えたまちがあった足跡などを振り返りながら、改めてまちのよさを気付いていただくルートなどを各コンシェルジュの方は学んでいます。

福原委員

総合計画の位置付けの中で、中心市街地の活性化についてどのような目標を掲げているのか。そして、その中で人づくりはどのような位置付けをされているのか伺いたい。

柳田商業観光
課長

総合計画におきましては、魅力ある商業の振興の中で中心市街地の活性化が位置付けられております。その中で、情報発信や魅力溢れるまちづくりに取り組むこととして、魅力ある商業の振興を進めていくこととなっております。人材育成をなぜ行うのかということについては、さまざまな事業を行ったり、人を呼び込むような魅力的なものを作っていくためには、そこに関わる人が大事になってまいりますので、そういう事業が行われる中心市街地を育成フィールドとして、人材育成をしていきたいと考えています。

福原委員

今回の委託について、誰が教え、募集人数は何人で、どういう方を対象に、どういう形で人づくりを進めていくのか、具体的な内容を伺いたい。

柳田商業観光
課長

育成に関する計画は、これから作る部分も含めて考えてまいりたいと思いますが、基本的な考え方としては中心市街地で行われる各種イベントの

コーディネーター役として関わっていただくということがまず一つあります。それから、イベントを行うに当たっては商店街や小中学校などとのやり取りをしていかななくてはならない部分がありますので、そういった部分を通じて人脈を作っていくことも育成内容にしていきたいと考えています。また、人についてはこれまで県の緊急雇用の基金を使って雇用されてきた方が、その育成の中で大変スキルを上げておりますので、そうした方にさらにつながりを広げていただいて、活性化につながる事業を展開していただければと期待しています。

福原委員

対象の方は既に関わっている方か、それとも新しい方なのか。また、誰が教えるのかなど詳しく説明願いたい。

柳田商業観光
課長

今想定している人材については、新規に募集するというのではなく、今商工会議所の臨時職員、準職員として働いている方を継続して雇用できればと考えています。育成プログラムについては、まちぞうの店長の指導やそこに関わる歴史に詳しい講師のボランティアの方などがいますので、そういう方も一緒に事業を展開しながらスキルを上げていただければと考えています。

福原委員

今回、国庫支出金300万円という一過性の財源だが、人づくりは継続性が大事だと思う。来年度以降については、どのように考えているのか。

柳田商業観光課長 地方創生の中で、中心市街地活性化の事業が位置付けられることになりましたら、活用できる補助は活用したいと考えております。補助がなくなった場合については、商工会議所と分担金を出し合いながら運営しておりますので、改めて協議、検討をしてみたいと考えております。

粕谷委員 今回の中心市街地活性化人づくり事業は、予算を委託で組んでいるわけだが、あえて委託料として組んだ効果、検証をどう考えているのか伺いたい。

柳田商業観光課長 効果については、事業の広がりや参加者の人数という数字でも把握しているところです。昨年の効果としては、中心市街地のマンションで行われるタワーまつりなどはふえており、成果が上がっていると認識しています。

松崎委員 どのくらいふえているのか。

柳田商業観光課長 タワーまつりについては、昨年新たに一つできましたコスモフォーラム所沢で事業を行い、およそ3,000人程度、参加される方がふえたとの報告を受けています。

粕谷委員

今年度の委託についても、タワーまつりや中心市街地で実施しているさまざま事業について、引き続き検証を行うということによろしいか。

柳田 商業観光
課長

そのとおりです。

松崎委員

宿泊施設立地可能性調査事業について、新規事業概要調書に調査項目として、宿泊需要、宿泊施設のグレード、市が行うべき条件整備の3つが挙げられているが、ほかに考えていることがあるか伺いたい。

畑中 産業振興
課長

宿泊ニーズの調査ということで、誘客可能性のある観光施設、イベントに集まる観客数、ホテルを利用される事業所の数や規模を調査いたします。それから、宿泊施設の規模を検討するための来客数の推計といったことも調査をしていきたいと考えています。

松崎委員

事前にホテルの担当の方と、新たに進出する際の必要な条件などを話しているのか伺いたい。

畑中 産業振興
課長

今回予算計上するに当たりまして、そういった関係の事業者は何社かヒアリングを行っていますので、そうした要素も含めているものと考えています。

松崎委員

何社かというのは、どういったところなのか。

畑中産業振興
課長

宿泊施設の誘致を行う事業者や、不動産開発関係のコンサルタントに話を伺っております。

松崎委員

市内のホテルの現状や課題について、既に把握されているのか伺いたい。

畑中産業振興
課長

現時点では把握しておりませんが、今回の調査においてそういうことも把握をするようにしたいと考えております。

荒川委員

たまたま国庫補助金のメニューがあったので予算計上したのか。それとも、補助メニューがなくても市単独でやるつもりでいたのか、どちらなのか伺いたい。

畑中産業振興
課長

所沢市内のビジネス環境がここで大きく変わってきているということもあり、産業振興課としてはこの交付金がなくても実施したいと考えておりました。

秋田委員

東急東横線が西武池袋線とつながったが、東急のホテルが所沢に進出し

	たいというような話は聞いたことがあるか。
畑中産業振興 課長	具体的にどこの会社がという話は、伺ったことはありません。
秋田委員	どこの会社がということはないが、話はあったのか。
畑中産業振興 課長	金融機関等から、進出したい企業があるという話は伺ったことがあります。
秋田委員	今回の調査に当たり、西武鉄道とリンクして何かするという事は考えているのか。
畑中産業振興 課長	結果が出ればいろいろな宿泊事業者に話をしていきたいと考えておりますので、その中には当然西武鉄道も含まれていると考えております。
秋田委員	東急などにも投げかけていいと思うが、いかがか。
畑中産業振興 課長	西武鉄道はもちろんのこと、関係が深いと思われる東急にも話をしたいと考えています。

秋田委員

東京には、宿泊しようと思ってもビジネスホテルがないとのことであるから、所沢にも需要があるのではないかと思う。このような現状を担当部として知っていたか。

畑中産業振興
課長

いろいろなメディアで、そういう報道があるのは承知しております。

島田委員

途中経過を10月ぐらいに示せればということであったが、それについて伺いたい。

畑中産業振興
課長

ここで地方版総合戦略を策定しますので、そこに反映させるためにも10月頃には中間報告ということで、ある程度のデータを取りたいと考えています。

島田委員

川越プリンスホテルやホテル・ヘリテージ飯能の回転状況等については、これからデータ収集をするということか。

畑中産業振興
課長

現時点では持っておりませんので、この調査の中で取れる範囲で把握をしていきたいと考えております。

福原委員

事業の概要で、本市圏域（本市及び近隣市町）を対象に調査となってい

るが、なぜ近隣市町まで広げているのか。それから、事業を進めるに当たって、近隣の自治体とやり取りが既にあるのか伺いたい。

畑中産業振興
課長

ここでいう本市圏域における宿泊需要というのは、所沢市を中心にして近隣市も含めてお泊りになられる方がどれぐらいあるかということです。例えば、飯能に遊びに行くときに所沢に泊まって遊びに行く、そういう意味での近隣ですので、他市のために調査するものではありません。また、他市との連携、調査等も特に行っておりません。

福原委員

調査するときには、例えば飯能市や狭山市など広い範囲に行って具体的に調査をするということか。

畑中産業振興
課長

例えば、所沢にホテルがあれば泊まっていたはずの人が、立川や飯能、川越などに流れている可能性がありますので、そういったことを調査していくということです。

福原委員

先ほど、ビジネス環境の変化を捉えて事業を行うという説明があったが、どのような変化なのか伺いたい。

畑中産業振興
課長

まず、所沢駅東口に日本光電工業の大きな研究所が建てられますし、西口では車輛工場跡地の開発もあります。それから、東所沢にはKADOK

AWAの印刷物流拠点のほかに、美術館、博物館の構想もあるということで、ここでかなり集中的に大きく変わる可能性がありますので、このタイミングを捉えて状況を把握していく必要があるだろうと考えております。

福原委員

仕事関係で来られる方がふえていくということかと思うが、KADOKAWAや日本光電工業との話の中で、市に対して宿泊施設等の要望はあるのか。

畑中産業振興
課長

宿泊施設に関する要望はいただいておりませんが、既に市内で活動をされている事業者から、ぜひホテルがほしいという話は何度も伺っております。

福原委員

プロポーザル方式ということだが、市からこの項目についてやってほしいという提示内容があれば、示していただきたい。

畑中産業振興
課長

先ほど申し上げたように、誘客可能性のある施設やイベント、それから事業者の規模、顧客となる方々の推計といった調査内容を仕様書として示そうと思っています。プロポーザルの中では、事業者にはそれぞれ持ち味があると思いますので、それが際立たせられるように、項目に応じてどういうノウハウがあるかということを引き出したいと考えています。

松崎委員 今、インターネットで知り合いを見つけて簡単に泊まりに行けるサイトが有名になってきているが、そういうことは把握しているか。

畑中産業振興課長 そういう仕組みがあるということは、存じて上げております。

松崎委員 所沢でも、調べてみると何件か出しているところがあり、そういったところに泊まるユーザーもふえている。旅館、ホテル関連の法律との絡みもあるが、こうしたことも今後モニターしていくつもりがあるか伺いたい。

畑中産業振興課長 今回は、大きな宿泊機能が必要かどうかということ进行调查するものです。大きな宿泊施設に泊まることとは違う宿泊形態を、産業政策としてどう捉えるかということは今回の調査とは別物だと思います。今、ご質問のあった形態が、所沢市の産業にどう影響を与えるかということは、別途検討しなければいけない課題と考えています。

粕谷委員 こういった調査事業をするということは、市としてホテルを造っていきたいということか。

畑中産業振興課長 宿泊施設があった方が、今後の産業政策の発展についても有用であると考えています。

荒川委員

誘致ではなく、市がホテルを造るということか。

畑中産業振興
課長

ホテル自体を市が造るということではなく、ぜひ来ていただきたいとい
うことです。

【議案第63号 産業経済部所管部分質疑終結】

【意見・採決保留】

休 憩（午前9時28分）

（説明員交代）

再 開（午前9時29分）

○議案第61号「専決処分の承認を求めることについて（平成27年度
所沢市一般会計補正予算（第3号））」当委員会所管部分

【補足説明】 な し

【質 疑】 な し

【意 見】 な し

【採 決】

議案第61号当委員会所管部分については、全会一致、承認すべきもの
と決する。

○議案第63号「平成27年度所沢市一般会計補正予算（第4号）」

当委員会所管部分（財務部）

【補足説明】なし

【質 疑】

秋田委員

財産維持管理費について、車はどう入り、どう出ていくのか確認したい。

加藤管財課長

今の道路はそのままとなります。現在、並木通り線から進入してきた車両は右折して市役所駐車場に入りますが、右折しないで少し進んでいただいた先に、左折して入る進入路を設けます。入っていただいた後は、北側に回り込んでいただくような形になります。それから、今、公園側にあるNTTの入口ですが、そちらは出口専用にしようと考えております。

秋田委員

これから人口も減少するし、市の職員も減少していくことと思うが、わざわざ借りる必要があるのか伺いたい。

加藤管財課長

本庁舎で勤務する職員の数というのは、実際にはそれほど減っておりません。またこれから先、高齢化が進むと車で来庁される方がますますふえるのではないかと予測しておりますので、20年先まで需要はあるものと考えております。

秋田委員 これから先、人口が減少すれば必ず職員もへっていく。駐車場のことはわかったが、建物も借りなければならなかったのか。

加藤管財課長 執務室については昨日議場で部長が答弁したように、1、2階の狭隘化と福祉部門の事業がかなりふえておりますし、現在旧庁舎で執務をしている部門がありますが、旧庁舎が使用できなくなるということもありますので、それらも勘案する必要があると考えます。

秋田委員 旧庁舎から引き揚げて来るといようなことも考えているようだが、それがメインということになるのか。

加藤管財課長 それがメインということではなく、そういったことも含めて庁舎、執務室の狭隘化への対応が必要であろうというふうに考えております。

松崎委員 民生関連の来庁者がふえていて、1、2階が狭隘化しているというのはわかるが、N T Tの建物に移転する可能性のある部署は1、2階の部署ではなかった気がする。それでは1、2階の狭隘化は改善されないと思うが、いかがか。

加藤管財課長 移転したところが空きますので、それを含め部署の再配置を検討するものです。

松崎委員 狭隘化しているというのは1、2階というわけではなく、本庁舎全体と
いうことか。

加藤管財課長 実際に会議室等を潰して執務スペースにしたり、カウンターもかなり前
に出しているような状況であり、全体的にも狭隘化しております。

荒川委員 平成25年に下水道部が水道部の庁舎に移転し、ゆとりができたものと
思っていた。この数年でそんなに急激に悪化するものなのか。

加藤管財課長 確かに空きはできましたが、その当時でもいっぱいというような状態
でした。そして、この間、機構改革で新たなセクション等もできており、執
務スペースが必要になったということでもあります。

松崎委員 本庁舎で勤務している職員の数を伺いたい。

加藤管財課長 正規職員が1,018人でこれに臨時職員が加わりますが、臨時職員の
数については把握しておりません。

松崎委員 N T Tの建物には、何人移ることができるのか。

加藤管財課長	予定しているセクションで申し上げますと、36人程度になります。
福原委員	事業の概要に、来庁者駐車場の慢性的な渋滞を解消するためとあるが、そもそも渋滞する原因を解消することもセットで考えているのか。
加藤管財課長	今までも庁舎西側公園通り有料駐車場との連携や庁内においては会議や催しものを行う際の調整、公共交通機関の利用案内、契約業務等で業者を呼ぶ際には混雑する時間を避けるなど、ソフト面での調整、解決策をとってきましたが、それでも慢性的に渋滞しているような状況であります。
福原委員	これから人口も減少するし、モビリティマネジメントの観点からもマイカーから公共交通への転換といった市の方向性といったものもあるかと思う。しかしながら、今回は慢性的な渋滞を何とか解消したいということが、優先順位としてあるということか。
加藤管財課長	第一に混雑解消、庁舎の狭隘化を解消したいということがあります。
島田委員	23台分借りるということだが、これによって渋滞は何パーセント解消される見込みなのか。また、現状、ピーク時で何台ぐらい待っているのか。
加藤管財課長	ピーク時間はお昼を挟んだ前後2時間で、ピーク時には30台ほどが並

びます。今回23台分借りますと、ピーク時でも7台に減るので予測としてはかなり緩和されるのではないかと考えております。

秋田委員 この庁舎はいつ竣工したのか。

加藤管財課長 昭和61年です。

秋田委員 慢性的な渋滞に陥ったのはいつ頃からか。

加藤管財課長 当初から混雑していたと思います。

秋田委員 見通しが甘かったというしかないが、設計事務所はどこか。

加藤管財課長 株式会社日建設計東京本社です。

秋田委員 竣工が昭和61年でその当時から混雑していたのであれば、設計段階で問題があったと言わざるをえないが、いかがか。

加藤管財課長 恐らく用地取得との関連もあったのではないかと考えます。

三上財務部長 補足いたしますと、この庁舎は昭和61年の完成で当初駐車場は東側だ

けでした。しかし、これでは狭いということで平成2年に東側の南側の部分、こちらを2段ラックの駐車場にして19台増となりました。その後、それでも渋滞を解消できないということで、平成8年に170台収容の庁舎西側公園通り有料駐車場を完成させ、ある程度駐車ニーズが満たされ渋滞も解消したのですが、その後の業務等の中で徐々に今のような状況になったということでもあります。ですから、開設以来渋滞を放置してきたというわけではなく、ハード面に加え、先ほど管財課長が申しあげましたソフト面でもいろいろと方策は講じてきており、今回その方策の一つとしてN T Tの駐車場を借用したいということでもあります。

秋田委員

できた当初から渋滞しているというのは、どう考えても問題があると思うが、どうなのか。

三上財務部長

当時から、駐車場が狭いという指摘はあったようです。

荒川委員

武藤市長のとき、庁舎が高すぎる、豪華すぎるという話が相当あった。そこで武藤市長が考えたのは、駐車場を潰して敷地から切り離してしまうことであった。本来、市の敷地はもっと広がったが、敷地を切り離すという節約をした結果、最初から渋滞し、駐車場に皺寄せがいつてしまった。

島田委員

平成8年に庁舎西側公園通り有料駐車場を完成させたということだが、

その後19年間は現状維持であった。この間、NTTから借りるなどの積極的な渋滞解消策を講じる動きはなかったのか。

加藤管財課長

借用の話はしておりました。しかし、NTT側も昨年度の途中まで事務所の一部を使っておりました。ここでやっと条件が整い、昨年から交渉に入ったということでもあります。

福原委員

交通整理するのがますます大変になると思うが、今回の借用に当たって交通協議はなかったのか。

加藤管財課長

交通協議ではなく、一方通行について内部の検討は警備を含めて行いました。その中で、庁用車の流れ、一般車両の流れ等を勘案した結果、警備により整理し、渋滞をへらした方がよいのではないかと結論に至りました。今後も、実際に運用する中で、その状況によっては考えていかなければならないので、検討課題の一つと考えております。

粕谷委員

財政調整基金の残額が約5億3,000万円で、起債も今回約2,600万円組んでいる。その辺を踏まえ、当初予算と補正予算の関わりについて、どのように考えているのか伺いたい。

林財政課長

財政調整基金の残額は約5億3,000万円ということで、近年では非

常に低い数字となっており、大変厳しいものがあると考えております。本来的には所沢市ぐらいの予算規模であれば、この時期2桁以上あって当然と考えておりますので、そういう意味ではもう少し財政調整基金に余裕を持って補正に備える必要があると考えております。ただ、今回につきましては、先の3月補正でもかなり国保に繰り入れさせていただきましたが、結果的にはそれでも足らず、この6月で繰上充用の専決処分という、今までにない状態になっています。国保の繰上充用についてはもう避けなければなりませんので、来年度の当初予算については今回の反省を踏まえて、予算の組み方を総合的に考えてまいりたいと考えております。

【議案第63号 当委員会所管部分質疑終結】

【意見・採決保留】

休 憩（午前9時57分）

（説明員交代）

再 開（午前9時58分）

○議案第63号「平成27年度所沢市一般会計補正予算（第4号）」

当委員会所管部分

【意見】

荒川委員

日本共産党所沢市議団を代表して意見を申し上げます。歳入について、個人番号カード等交付事務補助金に反対します。先の日本年金機構へのサイバー攻撃による個人情報流出をはじめとして、セキュリティ対策に万全というものはなく、個人情報の流出は避けられません。一旦流出したら絶対には戻らないわけであり、こういったものはやめるべきだということ、歳出との絡みで反対いたします。

島田委員

民主ネットリベラルの会を代表して意見を申し上げます。宿泊施設立地可能性調査事業について、これまで一般質問でもたびたび取り上げられてきましたし、また他市からの視察を受け入れる際でも、他市に宿泊されてしまうという事例も散見されております。ぜひ、ホテルの誘致をしていただき、市の発展に努めていただくようお願い申し上げまして、賛成の意見といたします。

福原委員

所沢市議会公明党を代表して、賛成の立場から意見を申し上げます。宿泊施設立地可能性調査事業について、さまざまな課題がある中で、今回企業の変化を捉えてということで議案の提出がありました。大きく期待する

ところでもありますし、宿泊施設があることによって経済の活性化が認められるということもありますので、行政側としても積極的に調査結果を元に誘致活動をお願いしたいと思います。次に、中心市街地活性化人づくり事業について、歳入は国庫支出金がベースになっているものの、やはり中心市街地の活性化は市の大事な取り組みの1つでありますし、全市的な大事な目標にもなると思いますので、そのことを踏まえた人づくりということで、人材育成の継続性の検討をぜひ来年度以降もお願いしたいと思います。次に、市庁舎執務室・駐車場借用事業について、これから人口も減少しますし、モビリティマネジメントの観点からもマイカーから公共交通への転換といった市の方向性といったものもあると思います。そういったものを踏まえて、慢性的な渋滞の解消をしっかりとセットで考えていただきたいと思います。それから、交通の流れ、交通整理についての懸念もありますので、交通協議についても引き続きお願いしたいということを申し添えて意見とします。

【意見終結】

【採 決】

議案第63号当委員会所管部分については、挙手多数により、原案のとおり可決すべきものと決する。

○閉会中の継続審査申出の件について（特定事件）

閉会中の継続審査申出の件については、別紙の内容で申出を行うことと決定した。

散 会（午前10時4分）

特定事件 常任委員会閉会中継続審査申出表

平成27年第2回（6月）定例会

総務経済常任委員会

- 1 国際社会（平和推進事業）について
- 2 人権尊重社会について
- 3 男女共同参画社会について
- 4 交通（交通政策）について
- 5 学校教育（私立学校）について
- 6 情報の共有と市民参加について（広報・市民参加）
- 7 行政経営について
- 8 危機管理・防災について
- 9 防犯について
- 10 財政運営について
- 11 農業・商業・工業について
- 12 観光について
- 13 労働・雇用環境について